

「葛飾区少年の主張大会」を開催しました



11月15日、かつしかシンフォニーヒルズにおいて応募総数352名の中から選ばれた小学生19名(欠席者2名を含む)、中学生8名、計27名がそれぞれの主張を発表しました。結果は次のとおりです。

地域教育課 ☎ 03-5654-8482



※司会は令和6年度中学生の部最優秀賞のジャッド ジェシカさん

小学生の部

最優秀賞

岡田 知紗(半田小6年)
「ユニークフェイスだからこそ伝えたい」
白井 波琉(亀青小6年)
「僕より小さいお姉ちゃん」

優秀賞

蜂谷 恵(奥戸小6年)
「障害者と共存できる社会へ」
中澤 仁那(飯塚小6年)
「だれもが安心できる公園にするために」
佐藤 風(堀切小6年)
「考えることをやめないで」
岡田 愛莉(よつぎ小6年)
「いじめ駄目、絶対!!をモットーに私が思うこと」
津加 陽花(上平井小6年)
「100年後もおいしいお米を食べられるように」

優良賞

小林 青葉(小松南小6年)
岩崎 梨里(細田小6年)
小沼 幸音(柴原小6年)
平山 由依(金町小6年)
芝田 晴佳(花の木小6年)
若林 亜莉粋(清和小6年)
大野 ひかり(本田小6年)
品田 篤志(東四つ木小6年)
道家 希映(東綾瀬小6年)
白戸 恵佳(白鳥小6年)
井上 遥人(中青戸小6年)
HANA AILA NAUFALYN(東柴又小6年)

中学生の部

最優秀賞

高橋 栄凪(葛美中3年)
「待っているもの」

優秀賞

蜂谷 凜紗(奥戸中3年)
「とある偉人の話」

谷本 未来(新宿中3年)
「想いは国境を越えて」

優良賞

藤井 杏奈(新小岩中3年)
大野 未徳(青葉中2年)
鞠子 紗陽(亀有中2年)
安田 繼里(四ツ木中3年)
根本 莉奈(中川中3年)

(敬称略・同一賞内の順番はプログラム番号順)

中学生の部・最優秀賞

「待っているもの」

葛美中学校 3年 高橋 栄凪

勉強、部活、日常の中で感じる「できな」、「苦手」それは、誰もが一度は向き合うものです。そして、「できないこと」を克服するためには、たくさんの努力や向き合う勇氣が必要です。では、その努力した先に、頑張った先に、私たちには何が待っているのでしょうか。

私には生まれつき喋れない文字がありました。大袈裟に聞こえるかもしれません。これが良くある話です。私は生まれつき「かきくけこ」が言えませんでした。名前に力行が入っている友達の名前を呼ぶ時も言葉がつまってしまい、うまく呼ぶことができず、それをきっかけにからかわれたり、「ふざけているの?」と馬鹿にされたりすることもありました。最初はただ恥ずかしいだけでしたが、いつの間にか「話すこと」そのものが怖くなってしまい、人と話すことが苦手になってきました。そんな私に声をかけてくれた

のが、当時の担任の先生でした。私の様子に気づいてくれた先生は「言葉の教室」という場所を紹介してくれました。「通ってみたい!」と思ったけれど、最初はとても不安でした。知らない場所で自分の苦手なことに向き合うのは勇気がいるからです。そんな私に先生は、「絶対に大丈夫だよ。頑張った先にはきっと素敵なことがたくさん待っているからね!」と優しく背中を押してくれたのです。先生の言葉を信じて私は通うことを決めました。言葉の教室では、担当の先生が毎日丁寧に発音を教えてくれて、少しずつですが自分でも変化を感じるようになりました。何度も練習を重ねるうちに話すことが楽しくなっていき、半年ほど経つ頃には、「かきくけこ」もはっきりと言えるようになりました。

友達の名前を気軽に呼べて、好きな時に好きなことを話せて、みんなには当たり前のことも私にとってはとっても幸せなことでした。今では人と話すことに不安を感じることもなくなり、自信を持って人と喋れるようになりました。そして今、こうして皆さんの前でお話がで

きているのも、あの時自分の苦手なことに向き合う努力ができたからです。あの一步がなければきっと今私はここに立っていません。私達の周りで起こっていること全ては、日々の小さな努力の積み重ねの先にあった「待っていたもの」だと、私は思います。

友達とうまくいかない時、自分だけができないと感じてしまう時、辛くて、悲しくて、どうしようもない時もあるでしょう。「何で自分だけ」「どうして私は」と、周りと比べて落ち込んでしまうこともあるでしょう。でも、私達の「これから」には、まだ見ぬ素敵なことがたくさん待っています。今、辛いことがある人、悲しいことがある人も必ず未来にはあなたを待っている「幸せ」があります。だからどんな時でも自分の弱い気持ちに負けないでください!諦めないでください!そうすれば、あなたを待っているものは、今よりもっと大きく、今よりもっと素敵なものになっていきます。努力した先に、頑張った先に、私たちには何が待っているのでしょうか。私は今では想像できないくらいとっても大きな幸せが待っていると信じています。